

身体拘束

廃止対策

《会場開催》

高齢者身体拘束廃止・虐待防止対策講座

開催
日時

令和6年12月16日(月)

10:00~16:00

(受講料) 一般:10,000円 法人・個人会員:8,000円

(会場)

振興会セミナールーム
横浜市中区山下町23番地
日土地山下町ビル9F

令和3年度介護報酬改定において、身体拘束についての指針の設定や研修が義務化され、高齢者虐待防止措置についても、3年間の経過措置期間を経て、令和6年4月より義務化されました。

本セミナーでは、事業所や施設の運営にあたって必須となっている「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修」と「身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修」をそれぞれのポイントと関連性を考えながら1回で学ぶ研修です。

《カリキュラム》

- 権利擁護の視点とは！？
- 高齢者虐待防止法の基本
- 身体的拘束適正化のための指針
- 身体拘束の禁止規定と廃止に向けた具体策
- 身体拘束と虐待を防ぐ

【実践事例】

身体拘束を検討せざるを得ない…
興奮・攻撃性や多動による転倒の危険性…
一般的な事前評価・支援計画立案・支援計画実行のセオリーを学びます。



講師

日本虐待防止研究・研修センター 代表

桜美林大学 講師

梶川 義人

対応困難事例、家族問題担当ソーシャルワーカーとして約20年間、特別養護老人ホームの業務アドバイザーを約10年間務める。

2000年から日本高齢者虐待防止センターの活動に参加し、高齢者虐待に関する研究、実践、教育に取り組む。自治体の高齢者虐待防止に関する委員会委員や対応チームのスーパーバイザーを歴任。著書に、『高齢者虐待防止トレーニングブックー発見・援助から予防まで』（共著、中央法規出版）、『介護サービスの基礎知識』（共著、自由国民社）、『障害者虐待』（共著、中央法規出版）などがある。



受講推奨者

介護福祉関係者
及び興味のある方

初級～中級